

サル痘の患者の発生について

12月20日、県内の医療機関から管轄の保健所に対して、サル痘の疑いのある患者が報告されました。

当該患者の検体を県内の衛生研究所で検査したところ、本日、サル痘の陽性の結果が得られました。

なお、報道機関各位におかれましては、患者様やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。医療機関への取材や直接のお問い合わせはお控えください。

患者の概要

年代：40代

性別：男性

居住自治体：神奈川県

症状：発疹、リンパ節腫脹、咽頭痛、倦怠感

海外渡航歴：なし

患者の状況：現在、県内の医療機関に入院中。状態は安定している。

参考資料：厚生労働省発表資料

県民の皆様へ

- 「サル痘」は、アフリカ大陸の流行地域（アフリカ大陸西部から中央部）で主に発生が確認されていましたが、2022年5月以降海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。
- 主に、感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）により感染します。また、患者と近くで対面し長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等も感染の可能性があります。現時点では、日常生活の中で空気感染を起こすことは確認されていません。
- 治療は抗生物質などの対症療法が中心ですが、ほとんどは軽症で、2～4週間で治癒するケースが多いとされています。
- 過剰に心配することなく、発熱、発疹といった症状がある場合には、マスク着用の上、衣服やガーゼ等で皮膚の病変を覆い、お近くの医療機関を受診して下さい。